

法親寺新聞



2014年 お盆号
手書き新聞 No.13

こんにちは。釋紗音です。いきなりですが、皆様は自分の事を善人だと思いますか？悪人だと思いますか？私たちの頭の中にうかぶ『悪人』は、人の命を奪ったり、人を傷付けたり、人のものを盗んだりする『犯罪者』の様な人だと思いますが、浄土真宗という悪人は、こういった人のことを言うのではないのです。莫大異抄に親鸞聖人の有名な言葉がありますね。



善人なほもって往生をとぐ。いはんや悪人をや。

(善人でさえ浄土に往生することができるのだから、悪人は言うまでもない) ここでいう善人は、戒律を守り、自力で悟りを開くことのできる迷いのない完成された人のことです。自分の思い通りにならなければ腹が立ち、当たり前になり生き物の命を奪っては食べてを繰り返す、それに感謝することもすぐに忘れる都合の良い私こそ、悪人なのです。

そんな地獄に落ちるしかない行いをしている私たちでも、阿弥陀様は親の様な気持ちで平等に救ってくださいます。

だから、南無阿弥陀仏は頼むお念仏ではなく、感謝のお念仏なのです。人間はすぐに周り比べて自分は幸せだ、不幸だと思いがちですが、周りだけでなく、自分に問いかけて、私自身が生かされている命であることを改めて自覚して日々を大団円におくることを忘れてはいけません。

住職の法話

暑い夏がやってきました。そして、お盆の時期となりました。この時期、ご門徒のお宅へお盆のお勤めに参らせていただくのですが、私もお盆参りを始めたのは中学生の頃からですから、もうすでに40年以上と巨木檀家参りをしていることとなります。中学生の頃は母に送り迎えをしてもらいお参りに行っていました。高校生になってからは、バイクの免許を取って、一人で参れるようになりました。そして現在は、自分で車を運転し、時には子供の運転する車で参らせていただきます。子供の頃は、ご門徒のおばあちゃんから「ぼーちゃん、ぼーちゃん」と呼ばれ、お参りに伺っても、お寺のご法座でも、皆様に可愛がっていただきました。そんなおばあちゃん達も皆ほとんどの方がお浄土へ参られました。先陰矢の如しあつという間の数十年でした。そして私自身も、すでに56歳。首や肩の凝りと痛みで小幽まされる毎日は、「諸行無常、無常迅速」。すべてのものがあつという間に和列変わって行きます。持統本『浄土真宗のみ教え』に「南無阿弥陀仏は、凡そ救う、われにまかせよ」との阿弥陀如来のおま声である。そのま声は私の称える南無阿弥陀仏の念仏となつて、今ここにいたりといでる。」とあります。お盆に際し、お念仏させていただくとき、お浄土へ参られたご門徒のおばあちゃん達、お父さん、お母さんが私の称える南無阿弥陀仏となつて今ここにいたりといでるのだと感じ、いつか私をお守りくださる阿弥陀様の存在を慶んでおります。



4.27 永代経進納者 法座



永代経進納者の永代経法座(仏説阿弥陀経)を参詣者とともにお勤め、兵庫県宝塚市住職の黒田真隆師のご法話を聴聞させていただきました。

7.19 盆法座



初盆の方の法名が読み上げられ、参詣者全員で仏説阿弥陀経をお勤め、兵庫県宝塚市西願寺住職の佐々木大観師のご法話を聴聞させていただきました。

おしえて住職 Q&Aの1-ナ-Q...

三具足と五具足の違いは何ですか？

A... 三具足(みつぐそく)とは、ろうそくをたてる燭台(よくだい)と花瓶(かみ)、香炉(こうろ)のセット。五具足(ごぐそく)とは、燭台と花瓶が一つ(ふたつづつ)、香炉が二つになります。普段のお参りや、お仏壇に五具足が収まらない場合は三具足で、法事や特別な日には五具足を用います。



親鸞聖人が、1214年に関東地方に浄土真宗のみ教えを伝道されて今年で800年になります。人間の平均寿命が100歳と考えても、800年という数字は、私達が計り知れない年月ですね。

また、親鸞聖人が29歳の時に法然上人と出遇っていなければ、私達はこうして、み教えを聴聞することはできなかったかもしれません。仏教の教えは、お釈迦様から七高僧、親鸞聖人へと受け継がれましたが、当時の伝道手段は、自らの足を使うか、手紙しかありませんでした。

現在は、携帯電話やパソコンでいつでもどこでも情報を得て、相手に伝える事もお手軽です。親鸞聖人が遺してくださった教えは、沢山の僧侶や門徒の命懸けの伝道により、私達に伝わりました。そんな方々の努力があったからこそ、私達は今、仏法に触れることができるのです。

法親寺に新しいお墓ができました!!

6.13 仏教婦人会

法親寺仏教婦人会は、昭和36年に本山の仏婦連盟へ加盟して今年で53年目になります。話し合い法座ではお浄土はどんなところだと思いませんか？②お念仏に出会って変わったことはありますか？をテーマに、皆様盛り上がりおられました。その後のしおり作りも、素敵なしおりが出来上がりました。



5.8~5.9 念仏奉仕団



西本願寺念仏奉仕団へ39名で参加させて頂きました。御影堂、滴翠園の清掃奉仕、ご門主との記念撮影とご面接、龍谷ミュージアム観覧、開法会館総会所での法話の聴聞。朝6時からの阿弥陀堂、御影堂でのお参り。念仏奉仕団の後は、大谷本願寺へ納骨に参りました。参加された方々からは、楽しかったというお声を沢山いただきました。法親寺は、今回で43回目の念仏奉仕団でした。



法親寺では、永代供養区画「奥の院」(個別永代供養墓)「安縁(あんゐん)」(個別永代供養墓)、永代供養納骨堂「歸命(きみん)」をご用意しておりますが、この度、永代供養墓「無量壽(ぶりやうじゆ)」(合祀永代供養墓)を建立いたしました。このお墓は、継承者がいなくなる事に不安があり、お墓を建てることを迷っておられたり、亡き人への思いはあっても予算的に厳しかったり、従来のお墓以外に納骨できる方法を探しておられる方にもお勧めです。詳しくは、住職まで!!

宗信、宗義、宗教を問いません。安心して信用できるお寺に故人のお骨をお託し下さい。

喧嘩から解き放たれた緑豊かな環境
お寺の静けさを感じながら
永代供養墓『無量壽』誕生

納骨一体 10万円

●永代供養墓(毎月15日お参り)
●永代供養墓(毎月15日お参り)
●永代供養墓(毎月15日お参り)
●永代供養墓(毎月15日お参り)
●永代供養墓(毎月15日お参り)
●永代供養墓(毎月15日お参り)
●永代供養墓(毎月15日お参り)
●永代供養墓(毎月15日お参り)
●永代供養墓(毎月15日お参り)
●永代供養墓(毎月15日お参り)

お参りにはホームページをご覧ください。
http://www.hoshinji.or.jp